

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成23年9月27日
【事業年度】	第13期（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）
【会社名】	中部国際空港株式会社
【英訳名】	CENTRAL JAPAN INTERNATIONAL AIRPORT COMPANY, LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川上 博
【本店の所在の場所】	愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
【電話番号】	(0569) 38 - 7777 (代表)
【事務連絡者氏名】	部長(財務担当) 関 淳
【最寄りの連絡場所】	愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
【電話番号】	(0569) 38 - 7777 (代表)
【事務連絡者氏名】	部長(財務担当) 関 淳
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年6月21日に提出した第13期（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (2) 経営成績の分析

###### 売上高

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_線で示しております。

### 第一部【企業情報】

#### 第2【事業の状況】

##### 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

###### (2) 経営成績の分析

###### 売上高

#### (訂正前)

空港事業については、国際線旅客便の新規就航や増便、国際線貨物便の新規就航の一方で、日本航空の更生計画に伴う運休・減便等の影響、国際貨物取扱量の減少により減収となり、前連結会計年度に比べ1.6%減の25,384百万円となりました。

商業事業については、国際線旅客数の回復及び、開港5周年を軸とした集客イベントの実施や魅力ある店舗誘致、さらには外貨両替の新規事業の開始により、前連結会計年度に比べ4.5%増の15,007百万円となりました。

交通アクセス施設事業については、予約駐車場の拡大等の施策実施により、前連結会計年度に比べ3.4%増の2,170百万円となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度に比べ3.4%増の42,561百万円となりました。

#### (訂正後)

空港事業については、国際線旅客便の新規就航や増便、国際線貨物便の新規就航の一方で、日本航空の更生計画に伴う運休・減便等の影響、国際貨物取扱量の減少により減収となり、前連結会計年度に比べ1.6%減の25,384百万円となりました。

商業事業については、国際線旅客数の回復及び、開港5周年を軸とした集客イベントの実施や魅力ある店舗誘致、さらには外貨両替の新規事業の開始により、前連結会計年度に比べ4.5%増の15,007百万円となりました。

交通アクセス施設事業については、予約駐車場の拡大等の施策実施により、前連結会計年度に比べ3.4%増の2,170百万円となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度に比べ0.7%増の42,561百万円となりました。